



会の告知板

9月23日(木・秋分の日) 第8回ウォーキングを楽しむ集い

見沼代用水東縁に沿って緑のヘルシーロードを散策

9:00 東久留米駅中央改札口集合

(詳細案内書-既配-参照)

10月3日(日) 東久留米雑学塾

15:00~16:45 中央公民館2F第1・第2集会学習室

講師 酒井正敬氏 (当会会員・三和経営研究所所長・中小企業診断士)

演題 「会社はいろいろ、社長もいろいろ」

聴講無料

(詳細案内書-既配-参照)

3日(日) 定期役員会

13:30~ 中央公民館2F集会学習室

16日(土) 第8回映画鑑賞会 14:00~ 市民プラザ

上映作品 「断崖」

ヒッチコック監督、ケーリー・グラント/ジョン・フォティン主演の心理スリラーの傑作

(添付案内書参照)

30日(土) 六大学秋季野球リーグ戦 早慶戦観戦会

(添付案内書参照)

11月21日(日) 東久留米稲門会創立10周年記念会行事

早大グリークラブ演奏会・懇親会他

(委細案内書-既配 参照)

【大学・校友会関係】

10月24日(日) ホームカミングデー・稲門祭り

本年の大学招待対象者は卒業後25・35・45・50年目の校友。

*当会割り当て福引抽選券は完売しました。会員各位のご協力を感謝いたします。(稲門祭り実行委員 平山/河村)



【部会スケジュール】

書道部会 例会毎月第2日曜日 13:30~16:30

11月10日~14日 市文化祭に出展

太極拳部会 毎週土曜日 10:00~12:00 成美教育文化会館1F

俳句部会 10月31日(日)~11月1日 箱根一泊二日吟行

12月19日 例会兼忘年会

囲碁部会 毎月第4日曜日 13:00~16:30 成美教育文化会館3F和室

9月26日(日) 早稲田囲碁会

ゴルフ部会 10月22日(金) 新武蔵丘ゴルフクラブ 9:06 Tee off 4組

プレイ代:昼食付 15,200円

(参加希望者は9月末日までに太田部会長まで。詳細添付案内書参照)

11月26日(金) 第2回 東久留米稲門会/三田会 ゴルフコンペ

新武蔵丘ゴルフクラブ 8:31 Tee off (詳細別途ご案内)

女性サークル 9月17日(金) 10:00~ 例会 市民プラザ

会の行事

映画鑑賞会 (第7回)



7月31日(土)、台風が接近した悪天候にもかかわらず、中高年女性を中心に100余名が「心の旅路」を観賞。この会も市民に認知され、定着した感があります。

「心の旅路」の原題はJ.ヒルトンの<Random Hervesy>で、まさに内容ぴったりの日本題名です。物語は戦場で記憶を失った男に、一人の美貌な女性が献身的な愛を捧げ、ついに男の記憶を取り戻させるという、ちょっと話ができすぎではありますが、そこはヒゲのR. コールマンと良質

なG. ガースンの演技が上手にカバーして、心温まる大人のメルヘンの世界を創りあげました。戦後の昭和22年に公開され、荒廃した時代に一服の清涼剤として話題になりました(キネマ旬報 ベストテン3位)。今回も心地よい涙と自然と拍手がわいて THE END となりました。

次回は愈々 A. ヒッチコックのサスペンス/ミステリー「断崖」です。いままで素敵な女性(女優)をヒロインにシリーズ化してきましたが、東京生まれのJ.フォンテインもそのひとりです。清楚な魅力と確かな演技にご期待ください。(36年・文 米光慶二郎記)

第7回ウォーキングを楽しむ会

猛暑最中、誰もが家を出るのを躊躇ったのではないかと思われる7月25日(日)の8時、それでも東久留米駅に8人が集まる。予定通り武蔵嵐山駅に到着、何とここで松田さん合流、計9人でギンギン照りつける太陽の下を歩き始める。稲荷塚古墳、菅谷館跡、この辺から森林に変わり、蝉時雨の中、最近はあまり見かけない黒羽蜻蛉の群れに遭遇、マイナスイオンを浴びつつ蝶の里公園を抜けオオムラサキの森活動センターへ入る。中には標本や写真が展示されている。今は絶滅寸前で殆ど観ることが出来ないだろうと思っていると、驚いたことに所長が先程もオオムラサキの居るところへ案内したと云う。我々もと案内を乞い向かいの森の中へ「あそこに居るでしょう。あれがオオ



ムラサキですよ」。数メートル先の木の二股のところに3匹のオオムラサキを発見、別の木にも1匹、1、2匹は羽を広げたり閉じたりしていて広げたときに独特の斑点が見え隠れしている。オオムラサキは案外大きくて羽を広げると10センチ以上はありそう、オスのほうが美しい紋様を見せるといふ、どうも皆雌らしい。それでも皆少年少女のような目で暫くはオオムラサキの虜になっていた。

予定のコースを進み武蔵嵐山公園で昼食、この辺が京都の嵐山に似ているのが地名の由来とか、再び森林、田園風景を抜けJA産直に寄り菅田神社へ。駅に向かう途中世話人が下見時苦労して探し当てた成金屋という大衆酒場が今日の打ち上げの場所。この辺りは養豚の産地、鮮度抜群の焼きとんと冷え冷えの生で乾杯、カシラ、レバー、ナンコツは絶品！懐かしいホッピーまで登場、男共はヨレヨレとなりて目出度く幕。今回は焼きとんとオオムラサキの集いでした。焼きとんはオススメ一見（食）の価値あり。（平山正徑記）

カラオケを楽しむ集い(第2回)

オリンピックに沸き、猛暑が続く8月21日（土）、「シダックス」で開かれた「カラオケを楽しむ集い」に初参加しました。東久留米稲門会が10周年を迎えているのに、40年近くも当市に住んでいて、数多く案内をいただきながら、仕事にかまけて総会など殆ど参加せず、内心忸怩たる思いがあったことも事実です。

先輩後輩の方々、曾ての若人10数名が相集い、それぞれの人生が滲み出た演歌をはじめポップス、フォークあり、それに懐かしのメロディー、軍歌などバラエティに富んだ曲が飛び交い、あっと云う間4時間が過ぎ、最後に皆で肩を組みながら「都の西北」で大団円を結び、久しぶりに感動を覚えました。

単にマイクを握るだけでなく、皆さんと語り合い、共通の友人を通じて一層のご縁を深めるなど人の輪が広がり、お互いに豊かな人生に繋がっていくのではないかと思います。縁と云えば、会がはねた後、まだ飲み足りない、歌い足りない面々9名が出口に屯し、口直しの店がないか、近くに住む小生にご下問があり、いつもあることを知りながら時間の都合で素通りしている“マリー”へご案内、たまたまママが後輩ということで、将に「縁は異なるもの味なもの」で一層盛り上がり、漸く日付が変わる頃、夏祭りを控えた提灯の点る道を後にしました。



何事も同じように、食わず嫌いだと足が遠のくことが多いかも知れませんが、今回のことで、これから時間の許す限りできるだけ参加するように心掛けていきたいとの思いを強くし、早速、既に締切期限が過ぎた10周年記念行事へ参加を申し込み、「遙かな友へ」を聴くことを楽しみにしています。

(33年・商 高柳 康夫記)

大学・校友会の行事

東京三多摩支部会長会開催

9月4日（土）午後3時から武蔵五日市の“黒茶屋”で、白井総長、小林校友会代表幹事、手塚・東京都23区支部長が臨席のもと、三多摩支部稲門会の23人の会長が集まって会長会が開催された。当会からは帆角会長が出席し下記が確認された。

- ・今年度支部大会を10月3日（日）に開催する。
- ・「東京三多摩支部」の名称は従来通りとする。（今年度東京23区支部が「東京都23区支部」と名称を変更したことに従い、「東京都三多摩支部」の名称を変えたらどうかの提案があったが、この提案は否決された）
- ・次期主幹稲門会として青梅、昭島両稲門会を指名する。
- ・支部として行う125周年記念募金については今年度以降も70万円（3万円×23稲門会＋1万円（支部資金から拠出））とする。



太極拳部会

創部以来満三周年の佳節を迎え、9月4日（土）稽古終了後、楽しく賑やかに懇親の場を持ちました。

当日は32名（旅行等で不参加6名）の方々が出席され、美酒を酌み交わしながら、親睦の輪を更に拡げることが出来ました。宴の途中で「中国と太極拳に関する18」の設問クイズに、各自真剣に取り組む微笑ましい光景もありました。

この度は、記念品として参加者全員に中国名産品を贈呈、更に精勤賞として稽古回数80回以上（男性7名女性3名）の10名の方々に祝品を贈呈し、中締めは河村さんのタクトで校歌を斉唱し、平山さんの音頭で高らかに「フレッサーフレッサー太極拳部」を三唱し記念懇親会を終了しました。

一句詠んで、

「白檀の扇香りし記念会」

尚、飲料・果物・菓子類・つまみ等ご提供頂いた方々に、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

有難うございました。

（部会長 船尾和巳）



囲碁部会

来る9月26日(日)、第4回オール早稲田囲碁祭が開催される。当部会からも例年通り2チーム11名の参加が予定されている。今回は若干のメンバー入替を行い、念願の優勝を目指している。なお、当日は第4日曜日の当部会の例会日に重なるため、例会を1週間繰り上げ9月19日(日)に行うことになった。泥縄的ではあるが、時計を使った対局の練習を行うことになっている。

これが終わると、次は恒例の囲碁部合宿が日程にあがってくる。ここ何年かは「あんこう鍋のホテル静台荘」(常磐多賀)が常宿的に利用されていたが、今回は多少目先を変え、「陣屋」(神奈川県)が組上に上がっている。宿のパフレットによると、陣馬山の南麓、近くに相模湖を配し、景観に優れた秘湯とのこと。「いのしし鍋」や鯉料理が売りもの。現在参加者を募集中で、皆さんの積極的参加を期待しています。
(部会長 辰己 徳蔵)

書道部会

9月7日(火)～8日(水) 太田(晴)部員のお世話で軽井沢アカデミー・ヒルズ(早稲田アカデミー所有)に赴き、第5回練成会を行った。武藤部会長以下7名が部員車に分乗して参加、熱心に練成を重ねた。数日前に突然火を噴いた浅間山も既に沈静し、練成を妨げるものではなかったのは幸いであった。

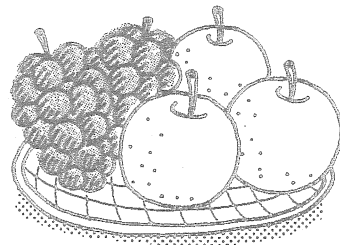
11月10日～14日の東久留米市文化祭に各部員の意欲作を出展する予定でいる。

俳句部会

- 9月5日(日) 第58回句会 中央公民館2F集会学習室
兼題：「葡萄」、「当季雑詠」各1句 席題：「秋澄む/秋麗」1句
高得点句(3点句以上)

新涼や平家ゆかりの能舞台
秋麗(あきうら)木馬揺れてる番所跡
色も香もワイングラスに満ち充ちて
葡萄熟れ白き雲曳く国境
秋澄むやゆっくり廻る観覧車
いよよ濃し白磁の皿の黒葡萄
新涼に酸味の利いたすめしかな
赤とんぼ敗戦投手立ちつくす
澄む空に老いた親父の独り言

大久保泰司
安宅 武一
坂本信太郎
太田 蔵之助(千雪)
神田 尚計
”
大川 洋子
杉本 達夫
大久保泰司



<会員リレーエッセイ>

噴水広場

市川 英雄 (33年・政経)

私の一周忌

この9月は私の幻の一周忌です。自分の一周忌とは何だろうとお思いでしょうが、実は昨年9月に、私は三途の川を渡り、あの世の入口に立ったのですが、門が開かなかったので、この世に引き返してきたのです。

あの世の入口付近の風景はいまでもはっきり記憶に残っています。奥深い山中の幽玄の世界とでもいうのでしょうか、筆舌に現せない不思議な景色でした。

発端は昨年9月1日のことでした。健康診断の結果、十二指腸に良質(ガンではない)の米粒大のポリープが1個あるというので、将来大きくなったり悪性に転化することを防ぐためとの理由で、内視鏡で除去することを担当医にすすめられ、僅か40分の時間で終わるといってオペに臨んだのです。それが人事不省の始まりで、まったく意識がないまま生死の境を1ヵ月余りさまよった結果、7ヶ月も入院することになるとは夢にも思いませんでした。

ポリープは採ったのですが、その十二指腸患部に孔をあけられてしまったのです。最初は8ミリ位の大きさの孔だったようですが、翌日の開腹外科手術の縫合に失敗し、2週間後の再度の開腹手術も失敗でした。この間、十二指腸の孔が大きくなって、胃液その他の臓器の液が孔から腹部に流失して、心臓その他の臓器を外側から溶かす危険性もあり、私は敗血症、腹膜炎等を併発して、出血を輸血で補い、高熱にうなされ続けました。集中治療室に入ったきり生きて出られようとは家族も思えなかったようです。

この病院は明治創業のがん治療では有名な大病院です。不安の家族はその病院の良心的な外科医に相談したところ転院を勧められ、伝手を得て4週目にT女子医大へ救急車で私を転院させました。事前に状況診断書を携えてT女子医大を転院依頼に訪れた家族は、生命の助かる可能性が低いことを告げられて愕然としたようです。これからの事は、意識が全く前に戻った10月後半以降に家族、医師、看護師さん等から聞いた話です。その頃、主治医から、あなたは死から免れましたと言われた時は何のことか理解できずびっくりしました。何しろ元気で数十分の予定の内視鏡オペに臨み、その後すぐに日常生活に戻る筈だったのに、自分の「死」なんて全然頭になかったものですから。

T女子医大の担当医師や看護師さん達は献身的な努力を昼夜尽くしてくれました。最近、胃ガンの手術でも3週間で退院できるとのことなので、6ヶ月余りの入院生活は果てしなく思われた闘いでした。十二指腸穿孔が塞がるという保障はない治療なのです。もし6ヶ月経っても塞がらなければ、その時点で成功確立は別として、更に関腹外科手術で縫合してみるということでした。常に、私と家族は不安に脅かされていました。健保適用外の外来高価薬も注射してもらいました。私の腹からは約10本のチューブが胃等の臓器に繋がれて突出し、その先端は臓液排出器に接続され、モーターで各液を排出・貯蔵して、真夜中でも定時毎に測量、捨てるのです。このため仰臥したままの期間がほとんどでした。意識のない期間も含めて約6ヶ月は口から食物を入れることはできませんでした。栄養剤は小腸に直接注入し、水分は血管へ点滴するという毎日で、入浴の代りに体を拭いてもらうという単調な生活の連続です。家族、友人、知人の激励がなければ精神的に参った

と思います。当時の高橋稲門会長にも数回お越しいただきましたし、幹事さん方のお見舞い、太極拳部会の皆さんの激励寄せ書きも有難くいただきました。あらためて皆さんに御礼申し上げます。

忘れもしない今年2月9日のレントゲン検査で、十二指腸穿孔が塞がっているようだという事になりました。奇しくその日は私の誕生日でした。私は心の中で何回も万歳をしました。私の再生記念日となったのです。

その後の回復テンポは速まり、2月下旬には念願の重湯からお粥へと食物を口にすることができました。リハビリ体操も進んで、長いベッド生活で歩くこともできなかつたのが、ステッキを使ってなんとか歩けるようになりました。

今春3月27日、昨年9月1日から通算して6ヶ月と27日ぶりに退院しました。病院を出た開放感ですっきりして見る街中はすれ違う車中、歩道の人々もみんな楽しそうで、街路樹の緑も大変美しく映えて見えました。

最近、T女子医大病院の定期検査で、異常なしと確認してくれた主治医の助教授先生が、努力した甲斐があったと相好を崩して喜んでくれたと時は、医はやはり仁なんだと目頭が熱くなりました。

会員の声

古典落語を聴く

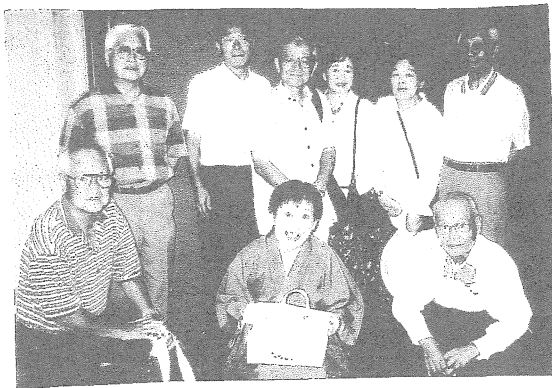
大川 洋子 (29年・文)

平成十六年度文化庁芸術団体人材育成支援事業として、池袋落語会右團治三五球が8月9日(月)東京芸術劇場小ホール2で午後6時から開かれました。

当稲門会より同好の士が誘い合って約10名が参加。演題は二席、「鰻の幫間」「蕨入り」です。桂前助、三笑亭恋生、東京ボーイズ、ボンボンブラザーズの芸に笑い転げて楽しいひとときを過ごしました。帰路、中国料理を囲み親しく談笑、夏の夜の良い思い出が増えました。

さて、右團治師匠(早大・法 62年卒)は平成12年真打に昇進後4年余り経ちますが精進著しいものがあります。二つ目(小文ちゃん)時代、東久留米にも浅からぬ縁のある方で、喫茶店アコルデの高座をつとめたこともあります。

厳しい男社会の中で女を売り物にせず、毅然として清冽なまでの精進の日々に感動を覚えます。これからも東久留米稲門会のみなさま方で拍手声援、心から応援して行こうではありませんか。



東稲広報室

○早大125周年記念募金の現況

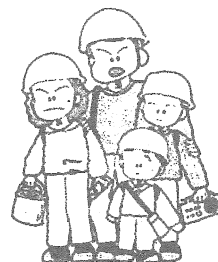
(東村山稲門会による井原大学募金担当理事とのインタビューより引出。以下は井原理事の発言要旨)

- ・募金開始後4年経過の本年7月末で約72億円となっている。2008年達成目標200億円の36%。
- ・大学の拡大・拡張路線を肅正し「箱物募金」は縮小すべしの意見もあるが、施設リニューアル、新設は早稲田の多様性を追求するものであって、良い環境・教育研究を実践する条件整備であり当初目標は達成したい。
- ・日本経済低迷の中、募金を仰ぐ以上大学の自助努力、財政改革は当然である。教職員給与はここ数年ペアゼロとしており、職員は減員させている。募金も現在教職員の約半数が応募しており最終的に全員応募を目指している。
- ・2007年を期して理工学部は三つの学部に再編される。新しい理工学部には「生命医学科」を新設し、医学関係の学問を集約して名実ともに総合大学としての充実を図る。

○この度、ポストマン制度の効率化、充実を図り、ポストマンを20人に増員し、区割りを再編成した。詳細は「ポストマン担当区割り表」(添付)をご参照下さい。

8月、当会創設10周年記念行事に未加入の校友を誘引し、当会加入を促すべく、新編成20名のポストマンが、案内書を携えて974人の未加入者にローラー作戦を展開した。一人でも多くの未加入校友の記念行事参加、当会加入が期待される所だ。ポストマンの尽力により、郵送費は極限まで抑えられている。

○当会会員荒川正行さん、鮎貝盛和さんが企画運営に参画されている東久留米自主防災研究会が、当9月より毎水曜日「防災まちづくり学校」講座を開講している。第1回は9月8日、東大名誉教授、地震防災対策強化地域判定会会長 溝上恵氏を招いて「首都直下地震とその対策について」が開講された。爾後、毎水曜日(原則13:30~16:30、成美教育文化会館5F研修室、終講は本年12月14日の水曜日)、身近な防災問題をテーマして開校される。当研究会では積極的参加を呼びかけている。(受講料 1,900円—資料代・保険代を含む)



<訃報>

7月10日、当会会員 林 義一さん(17年専商、西東京市)が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

[編集後記] 熱狂のオリンピックも終わると、さしもの猛暑も随分と衰えた。戦い終えたアスリート達の爽やかな表情や発言はとりわけ暑かった今年の夏に幾筋もの涼風をそそいでくれた。夢・目標を成就しえず、無念にも涙を呑んだアスリート達もいた。愛馬「ハルウララ」は終に勝利することなく引退するようだが、彼らには今一度、夢と情熱に燃えて北京に挑んで欲しいものだ。「人の世はごまんといますハルウララ」(サラリーマン川柳より)なのだから。もうすぐアキウララ、酷暑と寝不足で明け暮れた今夏に疲れた体を癒して、読書三昧とでもいきますか。

